

2015年（平成27年）12月発行

# な か ま

第49号



発行者 益田市保育研究会  
情報発信委員会  
事務局 〒698-0036  
益田市須子町3-1  
TEL 23-3607  
FAX 22-3554

早いもので2015年も残りわずかとなりました。皆さんにとって今年はどんな年だったでしょうか？今年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートしました。すべての子どもが、子どもらしく健やかに愛され育てられる良質な成育環境を保障するために、私たちはこれまで培ってきた養護と教育の一体となった保育を継承し、さらに子育ての拠点として地域との協働・連携をしていくことが求められています。研究会としてもこの益田市の豊かな自然などの地域にある財産を大切にしながら、未来を担う子どもたちのために共に学び合い、共に協力していきましょう！

## 益田の地方創生を保育の力で！

ふるさと教育研究委員会

委員長 河野利文

国は昨年12月、東京一極集中の是正や若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現、地域の特性に即して地域課題を解決することを柱として、人口減少の克服と地方創生を目指した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

これに基づき各自治体も自治体ごとの計画策定が求められ、益田市でも今年10月に「まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」を策定されました。

これから5年間の市の取組みの中心となるこの総合戦略では、（1）定住の基盤となるしごとをつくる、（2）結婚・出産・子育ての希望をかなえる、（3）益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる、（4）地域にあるものを活かし、安心して暮らせるまちをつくる、という4つの基本目標を設定し、これから様々な事業を進めていくこととなっています。



更に、今回の総合戦略に合わせて益田市が独自に策定することとした「益田市の未来を担うひとづくり計画」では、これからの時代に益田で育つ子ども達にどのような力をつけていくべきかがまとめられました。

この中では、益田で育つ子ども達が、これからの時代の変化に臆することなく、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を育む「ライフキャリア教育」を進めていくこととし、保・小・中・高のそれぞれの段階でどのような

経験が必要かということを明確に示しています。

保育所に該当する部分として、幼少期には、知識よりも五感を通じて、自分が暮らす空間で起こる現象や地域における様々な存在を確認することが大切で、「豊かな感性」を育む大切な時期であり、五感を通じた遊び体験などを徹底することで実践していくことが示されています。

益田市保育研究会では、こうした国や市の動きを待つまでもなく、7年前からふるさと教育の取組みを進め、将来の益田を担う子ども達への保育はどうあるべきかを考え、益田の豊かな「自然・文化・食」をもっと保育の中に取り入れ、各保育所で育つ子ども達が益



田の自然を体感する取組みや、ごはんのみそ汁を作る子どもを育てる取組み、保育所給食での地産地消の仕組みづくり、益田の民話や昔ばなしの価値を見直す活動、小学校との連携の仕組みづくりなど、各保育所（園）が協力しあいながら積極的に益田を体感する取組みを進めてきました。

これらの取組みにより、島根県立大学との協同研究や、全国大会での発表など、市内外で評価を受け、各方面からの『益田の保育』について

の評価は確実に上がってきたと感じています。

このことは、この度示された「まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」の中でも、基本目標「(2) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の冒頭で「益田市は、子どもの健全な発育をもたらす身近な自然環境、「待機児童ゼロ」に象徴される**多様で魅力的かつ選択可能な保育環境**、地域ぐるみで子育てと教育に取り組む風土などに恵まれ、合計特殊出生率については、全国的に高い島根県の中でもトップクラスの 1.80 をすでに実現しています。」と表現されていることから、うかがい知ることができます。このように、本市においては、各保育所で会員の先生方が努力を続けてきたことが着実に評価されるようになってきたところですが、残念ながら国全体で見ると、今回の制度改正でも期待していたほどの処遇改善がなされていないことを見ても、保育に対する社会的評価はまだまだ低いと言わざるを得ません。

これまで保育研究会が取り組んできたふるさと教育の取組みは、今年度から県立大学と益田市教育委員会との共同研究事業（ふるさと教育マルシェの日）となり、着実に各中学校区に広がり始めています。

今後も、各保育所で培ってきた魅力的な保育を更に高めながら、“益田の地方創生を保育の力で成し遂げる”ことで、新たな保育の未来が拓けると信じ、各保育所の魅力が更に高まる活動に尽力していきたいと思います。引き続き、会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。





## こころ親子キャンドルフェスタ2015inグラントワ

今年で記念すべき10回目となる、こころ親子キャンドルフェスタが9月5日にグラントワで開催されました。このイベントは、益田市保育研究会とかのあし保育協議会の加盟園41園が参加して開催いたしました。子ども一人ひとりが、竹と和紙を使い思い思いのキャンドルランタンを制作し、グラントワの中庭広場の水盤に飾られます。約1200個のキャンドルが幻想的な空間を創りあげました。今回は天候にも恵まれ3年ぶりに屋外での開催となりました。自分たちで作ったランタンに親子で火を灯しながら楽しいひとときを過ごされていました。ステージでは、しまねのゆるキャラが大集合したり、保育士バンド『シュークリーム』の演奏や『ロケットくれよん』のコンサート、飛び入りで『よしととひうた』の「ひうた」も登場してイベントを盛り上げていました。今年も「しまねっこ」が“しまねっこダンス”を披露してくれて会場は大賑わいでした。来年も遊びに来てほしいですね！大ホールホワイエでは親子で体験するコーナーなどお楽しみブースが出展されました。保育研究会も調理担当者部会のおにぎりの販売や男性保育者部会のキャンドル作りなどのブースを出展しました。調理担当者の3種類のおにぎりはすべて売り切れ、男性保育者部会のオリジナルキャンドル作りも大変好評で、親子で楽しい製作体験となりました。ボランティアスタッフとしてお手伝いいただきました先生方、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

この親子キャンドルフェスタは、島根県少子化対策推進室（こころ）と協力し、子育て家庭に体験活動の楽しさを伝え、子どもの健全な育ちを支援する目的で開催しております。また、チャリティイベントも兼ねて開催させていただき、赤い羽根共同募金にイベント参加団体の出展料や一部売り上げを寄付させていただきました。

今年は久しぶりに屋外での開催となり、キャンドルの点灯やステージイベントなど、親子でふれあいながら楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

来年は、11回目となるキャンドルフェスタ。親子で楽しめる企画を用意して開催する予定です。



## 第59回 全国保育研究大会で研究発表をしました

平成27年11月11日（水）～13日（金） 山口県  
山口市にて「第59回全国保育研究大会」が開催され、  
フリー発表分科会で益田市保育研究会から調理担当  
者部会、遠田保育園の高浦先生と葵保育園の御神本先  
生が代表で発表されました。

「ご飯とみそ汁を作って食べる子を育てよう！～食  
を営む力を身に付けた大人になることを願って～」と  
いうテーマで、各保育所で取り組んできたご飯とみそ  
汁を作る活動を中心に研究発表を行いました。



〈発表を終えて〉

これほど大きな舞台に立つことなど無縁で、何もかも初めての経験でしたが、一緒に発表していただいた葵保育園の御神本先生をはじめ、心強いサポートのおかげで無事終えることができました。食に関する発表もいくつかあり、とても勉強になりましたが、益田市保育研究会の発表はスケールが違っており、市全体での取り組みをしているという点は、どこよりも進んだ食育活動をしていると思いました。また、このように

一体となって活動できている環境がとてもありがたく、幸せなことであると改めて感じる事ができた大会でした。全国大会は終わりましたが、「ご飯とみそ汁を作って食べる子を育てよう！」という目標は今まで通り継続して活動していきたいと思いますのでこれからもよろしくお願いいたします。〔調理担当者部会 副部会長 遠田保育園 高浦 由紀子〕

## 山陰中央新報に“ご飯とみそ汁”の取り組みが紹介されました！

平成27年12月4日付の「山陰中央新報」に  
“ご飯とみそ汁を作って食べる子を育てよう！”の  
取り組みが紹介されました。

次の世代の“ご飯とみそ汁を作って食べる子”が育つ  
ときもまた、いまと変わらず、清流が高津川を流れて  
日本海にそそぎ、広い益田の地域地域と川や海には豊  
かな自然の恵みが育ち、その恵みを収穫して保育所に  
届ける人たちが、子どもたちの成長をあたたかく見守  
りながら生活している、そんなふるさとであり続ける  
ことを願います。 ～第59回全国保育研究大会資料より～





# ～運動あそびの紹介～

子ども達と一緒に、楽しく体を動かして遊んでみて下さい。

## 表現あそび 『キャッチ』

### ○あそび方

- ・ペアを作り、向い合って座ります。
- ・自分の右手を数字の 1 にして、左手を望遠鏡のように丸い筒状にします。左手は自分の胸の前に置き、右手を右隣の人の中に入れます。
- ・リーダーが「キャッチ！」と言ったら、自分の右手は隣の人に捕まらないように逃げなくてはならないのですが、左手では自分の筒の中に入っている指を逃がさないようにキャッチしなくてはなりません。



### ○アレンジの方法

- ・複数人で輪になって、両隣の人と行っても楽しいでしょう。
- ・リーダーの人は簡単にキャッチというのではなく、「キャ、キャ・・・キャベツ！」や「キャ、キャ、キャンディー」などのように、ダミーの言葉もいくつか用意しておく、だまされる人などもいて大いに盛り上がります。
- ・相手を捕まえたら 1 ポイント、捕まってしまったらマイナス 1 ポイントといった感じでポイント制にして競っても楽しいかと思います。
- ・慣れてきたら右手と左手を入れ替えて遊んでも楽しいです！

## 長縄跳び 『くまさん くまさん』

### ○あそび方

- ・歌に合わせて長縄を跳びながら、遊びます。

♪くまさんくまさんまわりましよう

(まわる)

くまさんくまさん両手をついて

(両手をつく)

くまさんくまさん片足あげて

(片足あげる)

くまさんくまさんさようなら

(縄から出る)



## 平成27年度 保育研究会会員施設一覧表

施設名	施設長名		施設名	施設長名
中須保育所	中 尾 攻		緑ヶ丘保育所	新田千恵子
高津保育園	松 尾 伸		神田保育園	塩満 恭子
まるに保育所	本田 行信		原浜保育所	吉村 里恵
若葉保育園	須山 成顕		(認)明星保育園	城市 泰紀
横田保育園	村穂 孝彦		わかくさ保育園	須山 信光
梅賀山保育園	小川 裕史		須子保育園	大場 保雄
遠田保育園	佐々木白文		川登保育園	山 口 真
小野保育所	宮内 光子		豊川保育園	河野 利文
北仙道保育所	川本 哲夫		めばえ保育園	田中 文仁
真砂保育園	本田 行尚		すみれ保育園	岩井 正子
鎌手保育所	寺田裕見子		吉田保育所	杉原 幸江
雪舟保育所	和崎 純子		都茂保育所	廣兼千代子
(認)益田ひかり保育所	戸佐間和子		東仙道保育所	福田 綾子
葵保育園	堀江 綾子		匹見保育所	斎藤 芳文
常盤乳児園	伊藤 綾子			

(認)・・・認定こども園

### 編集後記

平成27年ももうすぐ終わります。今年は4月から子ども子育て支援新制度が開始され、多方面からさまざまな変化のあった一年でした。今後も反省を踏まえつつ、さらなる変化があるかもしれません。これらの変化を皆さんの保育にかける情熱でしっかり受け止め、よりよい進化ができるよう互いに協力し進んで行きましょう。今年も一年お疲れ様でした。

### 益田市保育研究会情報発信委員会

委 員 長	佐々木白文	(遠 田)	副 委 員 長	本田 行信	(まるに)
委 員	増見 典子	(匹 見)	委 員	永岡 洋子	(豊 川)

この機関紙に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。あて先はこちら↓まで  
 益田市保育研究会情報発信委員会：メールアドレス [masuho@image.ocn.ne.jp](mailto:masuho@image.ocn.ne.jp)  
 ホームページ： URL <http://masuho-k.jp/>